

👉 **G A P の取組**
(個別認証)

農家とダイレクト株式会社

GLOBALG.A.P.

ピーマン

<基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字清水 5 6 - 3

従業員：7 名（正社員3名、期間雇用（1月～6月）2名、パート(通年)2名）

<農場概要>

栽培面積：施設野菜95a（ピーマン95a（GAP認証：ピーマン））

水稲 1 5 0 a

<経営理念>

地域の食文化を維持・発展させるための農業活動を行い独立自尊の人間を育成し、環境 社会に貢献する。



<G A P の取得のきっかけ>

- 社員に対する衛生管理の意識向上や作業のマニュアル化に向けた基盤作りとともに、今後のGAP認証生産物の流通量の増加（スタンダードとなる可能性）を見据えて、**2018年、GLOBALG.A.P.**を取得。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の意識向上と作業の効率化
 - ・作業ルールを定めたことによる効率的な作業と従業員の自主性が向上
- リスク管理の徹底
 - ・医薬品の保管場所もマニュアル化したことにより作業中の怪我への対応が迅速化
- 経費削減
 - ・保管庫の整理や記録簿の管理による農薬や資材費の削減

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 認証取得に伴う経費負担
 - ・認証取得のための設備等に経費を要し、補助金を活用しても大きな負担となった。
- 従業員への周知徹底
 - ・点検内容と作業手順の周知と理解に時間を要した。



農家とダイレクト 株式会社
<http://noka-direct.shop-pro.jp/>



👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

し い
有限会社 四位 農 園

GLOBALG.A.P.

ほうれんそう、えだまめ、ごぼう
こまつな、ケール

<基本情報>

所在地：宮崎県小林市野尻町三ヶ野山 3 0 2 8

従業員：160名

<農場概要>

栽培延べ面積：365ha（ほうれんそう200ha、えだまめ100ha、ごぼう30ha、こまつな30ha、ケール5ha）

<目指すところ>

「食の安全リスクの低減」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」の実践を通しての「食の安全と持続可能な生産管理」



<G A Pの取得のきっかけ>

社内での圃場の管理基準としてGAPを活用するため、2009年にGLOBALG.A.P.を取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 農業生産工程管理の徹底
 - ・従業員の一日の作業の流れの明確化
 - ・栽培管理、農薬等の受け払いの記録保持
- 労働環境の整備
 - ・休憩室、トイレの改修・整備等



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- コスト削減
 - ・整理整頓や農薬等の在庫管理を記録することにより無駄な購入等が減少。
- 事故防止
 - ・毎日の朝礼で、作業手順や注意点の確認。
 - ・毎月1回、全従業員で機械の点検を行い、トラブルを未然に防止。



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J A児湯 ティーファクトリー

ASIAGAP

緑茶（生葉、荒茶）

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡高鍋町（団体事務局：J A児湯）

栽培面積：約55ha（20農場が参画）

【経営理念】：法令を順守した生産活動及び安心・安全なお茶の供給を目的とした主体的運営かつ継続的改善を目指す。



<認証取得のきっかけ>

○納入先からの要望のほか、「事故を起こさない仕組」を作り、安全・安心なお茶を提供するため。

⇒ **H27.12月 J G A P 取得**

○更なるみやざき茶の生産管理技術の高さの証明及び販路拡大のため

⇒ **H30.10月 A S I A G A P 取得（宮崎県内初（団体認証））**

<GAP認証取得で苦労したこと>

○関係書類の作成

生産履歴の記入・管理

圃場毎の管理が煩雑（圃場が分散）
マニュアルの共有に時間を要した

○生産者への周知（意識改革）

「GAPをする」の意識付けに時間を要した

○生産・労働環境の整備

防虫対策、小動物の進入対策 等
（より効率性のある対策を検討）



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先への有利販売

- ・産地としての信頼確保
- ・海外ニーズへの対応 ⇒ 輸出への備え
- ・国際的なGAP認証プログラムG F S I（世界食品イニシアティブ）承認により販路拡大へ弾み

◆生産者の意識が向上

- ・食品・労働安全、環境保全に対する意識向上
- ・チーム制の導入
生産者同士で安全対策や作業ルール等の遵守についてチェック。不適合があれば班ごとで改善を行う。

◆明確な目標が持てた

- ・共通の生産工程管理ができたことにより、互いに協力でき、生産者同士の関係が深まった。



良品質なお茶の生産

(連絡先)0983-23-6335



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

株式会社 ジェイエイフーズみやざき

GLOBAL G.A.P.

ほうれんそう

<基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字南方3398番地2

従業員：138名（役員2名、職員27名、パート109名）

GAP認証品目：ほうれんそう（契約生産農家62戸、栽培面積約94ha、収量約2,700t）

【基本理念】活力ある農業・農村を創造し安全な食を通して国民の健康と幸せを願い自然と調和のとれた元気な宮崎づくりを目指す。



<GAPの取得のきっかけ>

- ・ 全契約農家の栽培管理の徹底、生育把握が必要
- ・ 国産冷凍野菜の販売先拡大のための付加価値を付ける

⇒ **H30.5月 GLOBAL G. A. P 団体認証取得**
(宮崎県内JAグループ部会組織での取得第1号)

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 契約農家への周知徹底
 - ・ 周知や意思統一に時間を要した
→「面倒くさい・難しい」という農家の意識
- ◆ 認証取得に伴う経費負担
 - ・ 既存の生産管理システムの再構築
→対外的に評価される基準に対応するための必要な経費

「ジェイエイフーズの取り組む機械化一貫体系」



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 契約農家の意識向上
 - ・ 「GAPをする」の意識付け（「5S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ）」の実践」「効率化」「コスト削減」）など
- ◆ 経営の効率化
 - ・ 契約農家ごとの生産・収穫管理がより正確に実施可能に
- ◆ ※フィールドコーディネーターによる現地確認作業が軽減（※圃場や生産者を巡回する職員）
 - ・ 契約農家によるグローバルGAP基準の栽培管理の徹底
- ◆ 国際基準に基づく農産物の供給が可能に
⇒**今後は輸出も視野に！**

<問い合わせ先等>

TEL：0983-43-5351

HP：<http://www.jafoods-miyazaki.jp/>



👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

白園自製 川 越 製 茶

JGAP

緑茶(生葉・荒茶)

<基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市田野町

栽培面積：茶4ha（品種：さえみどり、やぶきた他）、大根2ha、水稻0.2ha

労働力：家族3名（本人・妻・母）、期間パート4名

【経営理念】（川越製茶のこだわり）

自園自生による安心・安全なお茶を生産し、消費者に届けること



(川越社長)

<G A Pの取得のきっかけ>

「持続的農業に共感」⇒G A Pを目指す

2017年4月 J G A Pを取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

○認証取得までの準備

◆意識改革

- ・意識づくりや決め事の徹底
(G A Pに取り組む意味の徹底)

◆労働環境の整備

- ・作業施設の整理整頓
- ・リスク要因の洗い出し

◆関係書類の作成

- ・マニュアルの作成

◆認証取得に伴う経費負担

- ・設備の改修経費等



(道具置き場)



(農薬保管庫)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先の信頼確保

- ◆従業員の意識の変化 ⇒ 品質の向上
 - ・作業確認や打合せが増え、作業が効率化した。

◆整理整頓、在庫管理の徹底

- ・整理整頓が徹底され、作業効率も向上
- ・資材の在庫管理で無駄な支出が減少



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(株) オーチャードイワマン

GLOBALG.A.P.

マンゴー

<基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市大字柏原814-5

構成員：7名（役員1名、従業員2名、アルバイト4名）

栽培面積：マンゴー 50a（ハウス5棟）

【経営理念】

農業経営及び農場管理において、①安全で高品質な農産物の生産、
②環境負荷の少ない生産、③安全で健康的な労働を実現する。



<GAP認証取得のきっかけ>

○海外のブランディング確立のヒントを求め、GLOBAL G.A.P協会の方とヨーロッパ研修に参加したことにより、
GAPの必要性を感じた。

○宮崎県産のマンゴーで初めてGLOBALG.A.P認証取得。

⇒令和元年7月 GLOBALG.A.P個別認証取得

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○農業生産・農産物販売活動のマニュアルを作成し、
従業員と共有できた。

○構成員各々が役割分担することで、
責任を持って取り組むようになった。

○作業内容等のデータ化により、作業
の効率化、経費の節約に繋がった。



「今後の意向」

○GLOBALG.A.Pのノウハウを活かし、適正農業をより充実
させ商品価値を高める。

○自社**マンゴーの世界規模でのブランディング確立と輸出
も含めた販路拡大。**

○ホームページを活用した**通信販売の拡大や冷凍マンゴー
の商品化。**



<GAP認証取得で苦労したこと>

○製造レベル（生産～出荷）の形態での
農業から販売までを行うことにより、
GLOBALG.A.P 認証取得までには、
コンサルタントからの改善指導を受け
ながら取り組んだ。



<問合せ先>

TEL : 090-3073-8346

<https://www.orchardiwaman.com>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

長友みかん農園

GLOBALG.A.P.

かんきつ（せとか）・きゅうり

＜基本情報＞

所在地：宮崎県宮崎市清武町

構成員：正社員1名、パート13名（最盛期、変動有り）

栽培面積：0.85ha（内、ハウス30棟）

※せとかは赤橙色の果皮、糖度は13度～14度と甘みが強い柑橘

【経営理念】

消費者と直接向き合う、安全・安心な農産物の提供



＜GAP認証取得のきっかけ＞

○就農前はISOに関わる仕事を行っており、農業においてもGAPの取組は必要であると判断。

【GLOBALG.A.P.取得のきっかけ】

○将来的には輸出も視野に入れ、国際的にもメジャーなGAP取得を考えた。

GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2016年2月

＜GAP認証取得（更新）で苦労したこと＞

○パートへのGAPの説明

○認証（更新）に関する審査費用が高額である。

＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

○栽培管理の徹底により農薬の散布量が減り、

労働時間の短縮や経費削減に繋がった。

○農業資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。

○農作業のマニュアル化によりパート従業員の**作業効率の向上と安全な農作業**に繋がった。



＜問合せ先＞

TEL 080-4485-3332

<https://www.nagatomonouen.com/>

＜今後の意向＞

○現在のみかん農園を株式会社化し、輸出にも取り組んで行きたい。



合同会社オーガニックファームZERO

ASIAGAP

人参・ばれいしょ

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町
 構成員：正社員4名、パート3名
 栽培面積：5.5ha
 ※2008年有機JAS認証取得



【経営理念】

安全安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全型農業の実践者として、農業を通じて、社会・地域に貢献します。

<GAP認証取得のきっかけ>

○ 世間で、安全・安心の関心が高まる中で、自信をもって農産物を消費者へ届けるためには、**有機JAS以外にも、明確な基準を持つ認証が必要**であると思った。



【ASIAGAP取得のきっかけ】

○ **海外への販路拡大**も視野に入れていたため、GFSI承認の国際規格であるASIAGAPを取得した。
ASIAGAP認証取得 ⇒ 2020年4月
 ※GFSIとは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織

<GAP認証取得（更新）で苦労したこと>

- 申請の書類作成が大変。
- 認証（更新）に関する審査費用が高額。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 「安全・安心ナンバーワン」の農家を目指しており、GAPの認証取得は、**目標達成のための明確な基準**となった。
- 従業員の意識改革により、**農作業事故の未然防止**や、**作業効率向上**に繋がった。



<今後の意向>

これまで以上に「食の安全・安心」を消費者に届けていきたい。
 ※令和3年6月に「有機米農家 おにぎり宮本」を開店。



〈問合せ先〉

TEL 0983-33-3450

<https://www.organicfarmzero.com>

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

(有) 熊 田 製 茶

ASIAGAP

茶

<基本情報>

所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町求名9551

経営：熊田製茶：農業女子プロジェクトメンバーの熊田明日香さんご両親の
3人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園703a

(祖父の代の昭和45年から茶の生産開始、平成14年から有機栽培)

美香園：さつま町・薩摩川内市の若手茶業者の「薩摩さみどり会」の

熊田淳人さん夫婦ご両親の4人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園580a

(有) 熊田製茶は熊田製茶と美香園の共同経営の製茶工場である。



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望と海外へ目を向けた時に必要だと感じた。

平成14年から有機JAS認定

→平成30年2月ASIAGAP茶 Ver.1 1 団体認証取得

→令和元年2月 ASIAGAP茶 Ver.2. 2 団体認証取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

○従来から有機JASとISOを取得していたため、
様々な様式の作成はかなり楽だったが、農場2件での団体取得のため、
準備が大変でした。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

☆自分達の中で意識付けができるようになった
ことが一番です。

☆茶商からの売り先に合わせたリクエストに対
応できる体制ができたこと。



問合先：電話・FAX：熊田製茶：0996-57-0875

美香園：0996-57-0355

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

有限会社 松田農場

JGAP

きんかん

<基本情報>

農場所在地 鹿児島県 薩摩川内市祁答院町蘭牟田1133番地

農場概要 きんかん ハウス1.1ha 路地0.2ha

経営理念

「**食品安全 環境保全 労働安全 人権福祉**」に配慮した
農場運営にあたる



当社ではいち早くJGAP認証を取得し、安全・安心で美味しいきんかんの生産・販売を行っています。生で美味しく食べられるきんかんを是非ご賞味下さい。

<GAPの取得のきっかけ>

「**安全栽培の担保を確実にしたかった。**」

2013年11月にJGAP青果物を初取得。

現在、**JGAP青果物2016**を継続取得中。

<GAP認証取得で苦労したこと>

1. 栽培以外の環境整備（資本投資）が必要だった。
⇒ 農薬 肥料 機械 などの倉庫、休憩室、トイレ 駐車場
2. 全員で勉強会を行う時間を、多く費やさなければならなかった。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

1. **チェック項目に従うことで、頭が整理された。**
2. **農場運営に緊張感が生まれた。**
3. **GAPには、減農薬の目標値などはないが、社内目標値を決めることで、減農薬栽培ができていった。**
4. **年 月 週の計画会議を行い論議することで 社内の共通認識を持てた。**

【問合せ先】 TEL : 0996-56-0426 Fax: 0996-56-0545
H P : <https://www.mazdafarm.jp/index.html> ネット販売有り

👉 **GAPの取組** 株式会社 **ローソンファーム鹿児島** **(個別認証)** ～ 環境に配慮し、地域に根ざした安心・安全な農業を実践 ～

JGAP

だいこん、にんじん、かんしょ

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県肝属郡東串良町

設立：2011年4月

構成員：役員2名、社員1名、外国人実習生7名

資本金：500万円

＜経営概況＞

栽培面積：だいこん6ha、にんじん2ha、かんしょ1ha・・・GAP認証作物
キャベツ4ha、ごぼう2ha、（水稻栽培も検討中）

＜経営の理念＞

株式会社ローソンファーム鹿児島は、**安心・安全な食の供給者として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。**



ローソンファーム鹿児島の片平代表

＜（株）ローソンファームにおけるGAP取組みの考え方＞

1. 消費者の皆様に安心・安全な生鮮品を食べて頂きたい。
2. ローソングループでは、自社農場で安心・安全な青果物の生産を行っていることを消費者にアピールしたい。
3. 農業の産業化を行い、地域雇用を発生させ、地方創生を行いたい。

上記を実践するためには、労働環境を整え、働きやすい職場にする必要があることから、

2014年11月、ローソンファーム社長会にて、JGAPが日本の農業に最も適した生産工程管理と位置づけ、ローソンファームでのJGAP導入を決定!!

（株）ローソンファーム鹿児島は、2016年8月、JGAP認証を取得

＜GAP取得で苦労したこと＞

- 圃場が点在しているため、紙ベースでは作業記録の管理が煩雑。このため、市販の栽培管理ソフトを活用し対応
- 従業員への周知
 - ・収穫から出荷までのルールを事務室に掲示
 - ・作業前や作業時に、その日作業する圃場の危険ポイントを伝達

＜GAPの効果＞

- 従業員が安心して働ける環境整備 ➡ 従業員の事故ゼロ
- 農薬の飛散防止を徹底
- 異物の混入防止を徹底
- 農薬等資材の適切な在庫管理 ➡ コストの削減

-（株）ローソンファーム鹿児島の目標-

（株）ローソンファーム鹿児島は、JGAPを導入し、良い農業の実現を宣言します。

- ① 安全で、安心な、農作物を消費者にお届けします。
- ② 環境に配慮した農業を心がけ、地域と調和した事業を推進します。
- ③ 効率的な農業生産を行い、原価低減に努めます。
- ④ 従業員の安全と福祉に気を配った農業を推進します。



（株）ローソンファーム鹿児島の4S活動

整理・不要なものは捨てる
整頓・必要な物の整理分類
清掃・身近なところをきれいに清掃し、「見える」ようにすること
清潔・清掃することできれいな状態を保ち、「汚れ」ないようにする

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 菊永茶生産組合

A S I A G A P

JGAP

茶

＜基本情報＞

設立日：昭和47年11月22日

所在地：南九州市知覧町塩屋23649

組合員数：35名（平均年齢51歳）

茶園面積：161ha

品質目標：

1. 私たちはニーズに合った安心・安全でクリーンなお茶を作ります。
2. 私たちはおいしいお茶をつくるために仕事の仕組みを継続的に改善します。
3. 私たちは食品を作っていることを自覚し、環境に配慮したお茶を作ります。
4. 私たちは「生産性の向上」「組合員の生活の向上」「組織体制の強化」に取り組みます。



安心安全で
クリーンな知覧茶

＜GAPの取得のきっかけ＞

- ◆ 食に対する意識改革の声
- ◆ 消費者の声に近づく必要性
- ◆ 取引先からの要望



2008年11月 ISO9001取得
2009年3月 JGAP取得
2016年11月 ASIAGAP

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

◆ 取得準備段階

- ・GAPの必要性を理解してもらうための教育
- ・組合員から一人の脱落者も出さない取り組み
パソコン研修、個別指導、農場が記入しやすい帳票作り等
- ・イラストを入れたわかりやすいマニュアルの作成

◆ 取得後

- ・GAPのスキルアップ
取引先による監査の実施・指導
不適合の水平展開や情報の共有化
- ・若手内部検査員の育成
HACCP, 食品衛生講習会参加



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

◆ 取引先の確固たる信頼確保

- ・相対取引量が増加（24% ➡ 73%）し、新規顧客も増えた

◆ 組合員の意識変化

- ・「ヒヤリハット」による改善提案で、労働災害を出さない意識が高くなった
- ・「衛生教育」の実施により、食品を扱っている意識が高くなった
- ・作業ごとの責任者を明確にすることで、組織の強化が図れた

◆ 輸出への取り組み

- ・H25年から各国の基準に合わせた農薬試験を行い、農薬体系を確立した（令和元年 米国や台湾向け92t）

連絡先：（0993）85-3271
HP <http://kikunaga-cha.com/>



徹底した品質管理
（菊永茶生産組合HPより）

👉 **GAPの取組** (個別認証)

だ い き ち **大 吉 農 園**

ASIAGAP

キャベツ、枝豆、ケール、プチヴェール、
ピーズ、ズッキーニ、玉ネギ、トレビス

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県指宿市

構成員17名：ご夫婦2名+パート15名（キャベツ班6名、ケール班5名、枝豆班4名）

栽培面積：37.3ha（キャベツ25ha、枝豆8ha、ケール3.8ha、プチヴェール0.5ha）

【経営理念】「消費者目線にたち、我が子に喜ばれる野菜づくり」



私たち
はキャ
ベツ班
です。

＜GAPの取得のきっかけ＞

- ◆農産物のブランディング
- ◆知名度の向上
- ◆輸出先からのニーズ



2016年2月 JGAP取得
日本能率協会によるJGAP認証第1号
2020年2月 ASIAGAP取得予定

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- ◆生産履歴の管理
 - ・何時、誰が、何をしたら日報に記帳
 - ・作業日報をエクセルでデータ化
- ◆労働環境の整備（ハード面の設置にかかる導入経費）
 - ・農薬保管庫、休憩室、トイレ（屋外、作業場）の増設等
- ◆リスク評価（食品安全、農作業安全等）
 - ・全員でリスクと対策を検討し、情報を共有化

例：借地で初めて作業するほ場の場合は
どこがどう危険か、みんなでリスト
を作成し、チェック
・トラクターの転落事故危険箇所など



みんなでチェック

＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- ◆取引先が増えた（販路拡大：2社→10社）
- ◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減
 - ・整理整頓（5S）により、作業場が整理され、**作業効率がアップ**
 - ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出が減少**
 - ・作業前点検と作業後のメンテナンスで**機械トラブル減少**
- ◆従業員の意識の変化
 - ・従業員自らが働く中で問題点に気付くようになり、**事故防止に役立つ**
- ◆労働環境の整備
 - ・労災加入による**雇用環境の改善**



作業後のメンテナンス



整理整頓

【お問合せ先】TEL：080-6433-6860

E-mail daikichifarm@gmail.com

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

有限会社 ハラダ製茶農園

GLOBALG.A.P.

ASIAGAP

茶

<基本情報>

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2457-43

社員10名

<農場概要>

茶園35.4ha（平成30年10月現在）（やぶきた31%, さえみどり29%, ゆたかみどり16%, あさつゆ9%他 全11品種栽培）

<ハラダ製茶のこだわり>

「創業100年を超えて、美味しさを安全に、という品質と日本の「お茶」の新たな可能性を求めて。」



<GAPの取得のきっかけ>

食品工場で実践してきた生産管理手法(GMP)を茶栽培の工程から活用し、取引先からの一層の信頼を得たいという思いからGAPに取組んだ。

平成20年日本の緑茶業界で初のGLOBALG.A.P.とJGAPの認証を取得。

<GAP認証取得で苦労したこと>

■GLOBALG.A.P.しか規格がない状況で、取り組みをスタートする。

このため、GLOBALG.A.P.独特の要求体系への理解に苦労する。

例えば…

- ◎ 海外の農業体系（経営者と作業員がいる大規模経営）を想定した規格になっている
- ◎ 英語から日本語に翻訳されるなかで、規格の本質がわかりにくくなっている
- ◎ IPM（Integrated Pest Management）やPPP（Plant Protection Products）などの聞きなれない言葉が多い
- ◎ 海外では“茶”といえば“紅茶”が主流で、紅茶の製造をベースにした規格内容になっている
- ◎ ISO、FSSC22000とは異なり、一般原則（GR）やAnnexといった関連文書の比重が大きく、これらの理解も必要である

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆自らの仕事に対する自信

生産工程を整理、管理することによって、間違いがない作業ができる、間違えていれば修正することが確実にできる。

◆リスク管理への理解（リスク＝発生頻度×重篤性）

リスクの定義が明確となり、生産工程でリスク管理をするという見方が広まった。その結果、食品安全・作業効率の向上に繋がった。

◆法規法令の遵守

農業に必要な法令を見直し、整理することでこれまで以上に地域社会との繋がりが深まった。例えば、水の採取届、労働安全講習、燃料の取り扱いなど。



【お問合せ先】TEL:0997-46-2369 Fax:0997-46-4035

HP <http://www.harada-tea.co.jp/>

👉 **G A P の取組**
(個別認証)

株式会社 皆村農園

GLOBALG.A.P.

ばれいしょ

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県大島郡和泊町（沖永良部島）

構成員：常時4名，臨時雇用40名/年

＜農園概要＞

栽培面積：ばれいしょ 20ha（ばれいしょ専作）



＜G A P の取得状況＞

平成26年 3 月 GLOBALG.A.P.認証取得

平成28年12月 K-GAP認証取得

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

◆従業員の意識改革

- ・毎朝のミーティングと定期的な教育

◆労働環境の整備

- ・作物保管庫，農薬保管庫，トイレの増設
- ・選果場等の定期的な清掃とその記録

◆リスク評価

- ・リスク評価の作成と定期的な見直し

◆生産履歴の管理（作業者，天候，作業内容，使用資材，使用機械等）

- ・退勤時に作業者による作業記録の記入，作業記録のデータ化



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

◆取引先の増加 **（3社→6社）**

◆共販から個販になり，**品質向上への意欲が高まった。また，契約することで価格が安定した。**

◆教育訓練を行うことで，**従業員の意識が変わり，より安全に気を付け，情報交換が増え，作業効率が上がった。**

◆農薬や肥料の在庫管理で，**無駄な支出が減少した。**

◆整理整頓により**作業効率が上がった。**

◆生産履歴を詳細に記録することで，**圃場ごとの生産性が把握でき，不作地への対応ができ，秀品率が上がった。**

H P <http://www.minamuranouen.net/index.html>

（ネット注文もできます！）

TEL & FAX : 0997-92-1211、担当 : 090-9656-8903

👉 G A Pの取組 (団体認証)

J A種子屋久

西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会

JGAP

かんしょ

<基本情報>

所在地：鹿児島県西之表市

構成員：7経営体

- ・ GAP認証品目：かんしょ（安納紅、安納こがね、種子島ゴールド）
- ・ GAP認証品目の栽培面積 28ヘクタール

【経営理念】

- ・ 常に「食品安全、環境保全、労働安全、人権福祉」に配慮しよう！



<G A Pの取得のきっかけ>

- ・ 取引先の要望
- ・ 販売面での付加価値



平成30年9月
J G A P 取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 部会内の合意形成

- ・ 部会員214名の平均年齢は65歳以上と高齢化のためJ G A Pは「難しい」等のイメージがあり、部会役員を中心に認証を取得

◆ リスク評価への理解

- ・ 自ら考えるべきものであり、理解に苦労

◆ 団体事務局の負担

- ・ 記帳様式等、必要な書類について定められたものがなく作成に苦労



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 生産者意識の変化

- ・ 認証を取得したことへの自信
- ・ 生産する農産物への自信

■ 整理整頓による作業の効率化

- ・ 整理整頓が徹底され、農作業準備及び後片付け等の時間短縮により作業効率が向上

■ 差別化販売

- ・ 取引先からのニーズが通常商品より高い
- ・ 販売先で栽培履歴シールを貼付され、差別化販売されている



<今後の課題>

G A P に取組むベースはできたことから、今後はスナップエンドウに取組を拡げたい。

👉 G A P の取組 (個別認証)

有限会社大崎農園

GLOBAL G.A.P.

葉ねぎ、大根、
キャベツ 他

<基本情報>

所在地：鹿児島県曽於郡大崎町

構成員：役員3名・社員40名

- ・ GAP認証品目：葉ねぎ・大根・キャベツ他
- ・ 栽培面積 130ヘクタール（2018年度作付延べ面積）
- ・ 露地栽培+葉ねぎ施設の複合経営

【経営理念】

- ・ 原点はモノづくり。安全な土壌を育て、感動する美味しさを求める



3名で脱サラ新規就農 → 法人設立平成14年



<G A P の取得のきっかけ>

- ・ 取引先の要望

平成26年5月
GLOBAL.GAP.取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 農場でのリスク評価を検討・対策をとること

- ・ 農業生産における圃場リスク評価し事後の防止
- ・ 全社員にG A Pを共有すること（気づき）
- ・ 記録を整備し保管し、データを活用すること

◆ 環境整備

- ・ 農場や選果場における基準適合
- ・ 水洗トイレや手洗い所の整備
- ・ 社内アンケートを実施し改善する
- ・ 整理・整頓（5S活動の推進）
- ・ 出荷加工センターの環境整備



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 認証取得の苦労をプラスにとらえる！

- ・ 作成書類が多い→**毎年の蓄積を生かし活用**
- ・ 圃場・環境整備に労力・コストがかかる
→**仕事の効率・圃場の美化がアップ**
- ・ 審査費用が高い→**リスクを減らす保険料**
- ・ 生産品目の輸出の実現→**アジア地域に販売**
- ・ 毎年更新→**毎年成長できる！**
- ・ 社員全員の意識の向上→**生産性向上・安全的な配慮**

<今後の展望>

2017年5月からベトナム グラット高原で試験栽培をスタート。アジアに挑戦。

「**玄関を開けてこの広いアジアの
マーケットに 挑戦！**」お問合せ先：（0994）76-4043
HP [http:// www.oosaki-farm.com/](http://www.oosaki-farm.com/)

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農業生産法人 (有) 片平農産

JGAP

だいこん

<基本情報>

所在地：鹿児島県曽於郡大崎町永吉2381-1
構成員：30名（役員4名、従業員24名、パート2名）
栽培面積：だいこん 35ha

【経営理念】

より良い農業、より良い会社経営の維持のため、環境と人に
優しい農業を展開し、ただ農業をするだけではなく、地元の雇用
拡大や遊休農地解消を通して社会貢献を図る。
「土づくり、ものづくり、人づくり」



<GAP認証取得のきっかけ>

○鹿児島県版GAP（K-GAP）を13年前から取得していたが、**レベルアップと取引先からの要望**によりJGAP認証取得。

⇒ **令和元年2月 JGAP個別認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員がGAPの取組に対して同じ認識になるまでに時間を要した。
- 適合基準を定着させるための意思統一。
- 作業中のデータ入力及び管理の徹底。
- リスク評価に関する対応策の資料作成。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 審査の受験が、従業員の自発的な学習や意識向上に繋が**り、従業員教育的にも良かった。
- 従業員から、作業上の注意喚起を発するようになり、事故防止、農薬使用、肥料の使用に対する意識改革ができた。
- 販売先との**契約取引が増加**。

「今後の意向」

- 輸出**を視野に入れた**販路拡大**。
- ASIAGAPの認証取得**。



<問合せ先>

TEL：0994-63-1117

<https://www.katahira-nousan.com/company>

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

大崎町キャベツ出荷組合



JGAP

キャベツ

<基本情報>

所在地：鹿児島県曽於郡大崎町永吉2381-1
従業員：4戸（法人2 + 個人2）
栽培面積：キャベツ 57.8ha(JGAP認証取得面積)

【経営理念】

大崎町キャベツ出荷組合に加入している全ての農場が法令を遵守し、消費者にも従業員にも安全で環境にやさしく、みんなが働きやすい農場を目指し、日々精進する。



<GAPの取得のきっかけ>

近年の生活スタイルの変化による**食の外部化の発展により、加工・業務用野菜の需要が伸びる情勢に、生産者が一体となることで、そのスケールメリットを活かした、キャベツ産地の維持拡大と生産者の所得向上を目的。**

⇒ **令和元年3月 JGAP団体認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- コンサルを入れずに自分たちで勉強しながら取り組んだため、団体認証の適合基準を理解することに時間を要した。
- 認証取得までの経費。
- リスク評価**では、**項目が多く理解に時間を要した。**



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得を契機に、実需者との**信頼関係が構築**され、安定した契約取引となった。
- 定期的に生産者間の情報交換を行うことで、品質向上や安定生産が図られ、取引先からの**クレームが年々減少**。

「今後の意向」

- GAPの普及**を図るため、**大崎町内外の生産者への加入推進**。
- キャベツの品質向上による所得向上。
- 実需者が**ASIAGAP認証取得を求めた際、迅速に対応できる体制を整える**。
- 国内需要が減少した場合でも、経営安定が図られるよう実需者との更なる信頼関係を構築する。

<問合せ先>

TEL : 0994-63-1117

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

ヘンタ製茶有限公司

ASIAGAP

茶

<基本情報>

所在地：鹿児島県霧島市

構成員：従業員12名：周年雇用6名（うち販売事務2名）、臨時雇用7名

栽培面積：25ha

【経営理念】

「家族・スタッフと共に力を合わせ、一人でも多くの方に親しまれるお茶屋でありたい」



<GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 自社商品の販売額増加
 - ◆ 取引先からの要望
- 2016年10月 JGAP取得
2018年10月 ASIAGAP取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ・栽培～出荷までの各工程のリスク評価
- ・従業員への周知
(農場、工場での衛生面や安全面に対するルール作りに苦労した。飲食場所、休憩場所の確保など。)
- ・農場、工場、倉庫などの整理整頓
- ・製造工程で使用する資材等の安全性や規格を把握すること。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ・異物混入や衛生面に対する意識が変わった。
- ・資材の在庫管理によって無駄が少なくなった。
- ・労務管理など雇用環境の改善ができた。
- ・生産性の向上
- ・有機JAS認証と合わせ、販売面での信頼が向上した。
- ・リスク評価をすることによって、何をすべきか何が必要か、安全・安心に対する意識が改善された。

<今後の展望>

- ・現在、米国、フランス、香港、ドバイに有機抹茶と有機煎茶を輸出している。今後さらに、輸出量を増加したい。



お問合せ先：(0995) 77-2777
HP <http://www.henta.jp/>

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

JAきもつきミニトマト部会

JGAP

ミニトマト

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北1729

構成員：3戸（法人2、個人1）

栽培面積：1.7ha

【経営理念】

環境制御技術を導入し、ハウスの温度や湿度、日照や二酸化炭素などを管理するとともに、土壌に太陽熱を利用した消毒を施すことで、消毒液を使わない安全性の高い栽培に取り組んでいる。

味にこだわった、美味しいミニトマトの生産。



＜GAP認証取得のきっかけ＞

○鹿児島県版GAPを部会として平成19年から取組。

○販売先の7割は関東圏であり、**県版GAP認証だけでは他産地との競争力が弱いと感じた。**

○今後とも**販売価格を維持**したい。

JGAP認証取得 ⇒ 令和2年1月



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

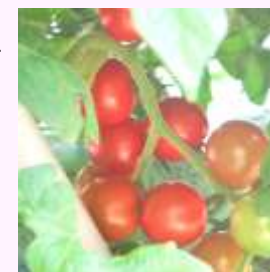
○**JGAP認証取得により**、構成員の意識改革に繋がり、ミニトマトの生産に対する**プライドが芽生えた。**

○取引先へのブランディングによる差別化。

「今後の意向」

○現在、契約販売が98%を占めているが、**更に輸出を含めた契約取引量を増やし、栽培面積を拡大**したい。

○**ホームページによる直売や輸出**を目指した販路拡大により、**ASIAGAP認証取得**を検討。



＜GAP認証取得で苦労したこと＞

○**リスク管理**として、**重油の防油堤設置**が必要となり、経費が高んだ。

○鹿児島県GAPに取り組んでいたこともあり、生産工程管理は当たり前のことという認識で取り組めた。



問合せ先

TEL：0994-24-3131

